

新型コロナウイルス感染症（変異株）への対応



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症（変異株）のまとめ

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一箇所程度の速度で変異していると考えられている。国立感染症研究所は、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株（VOC）」、「注目すべき変異株（VOI）」、「監視下の変異株（VUM）」に分類※1。変異株の発生動向はゲノムサーベイランスで監視している。

1. 懸念される変異株（Variants of Concern : VOC）

主に感染性や重篤度が増す・ワクチン効果が減弱するなど**性質が変化した可能性が明らかな株**

- B.1.351系統の変異株（ベータ株）※2
- P.1系統の変異株（ガンマ株）
- B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）※3
- B.1.1.529系統の変異株（オミクロン株）

2. 注目すべき変異株（Variants of Interest : VOI）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに**影響を与える可能性が示唆されるかつ国内侵入・増加するリスク等がある株**

- 現在該当なし。

3. 監視下の変異株（Variants under Monitoring : VUM）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに**影響を与える可能性が示唆される又はVOC/VOIに分類されたもので世界的に検出数が著しく減少等している株**

- B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）
- B.1.617.1系統の変異株（旧カッパ株）
- C.37系統の変異株（ラムダ株）
- B.1.621系統の変異株（ミュー株）
- AY.4.2系統の変異株（デルタ株（亜系統））※3

※1 国立感染症研究所では、WHO等の分類方法を参考に、変異株をVOC、VOI、VUMに分類している。国内での検出状況等を加味することから、分類は各国によって異なる。※2 PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。※3 デルタ株は、PANGO系統のB.1.617.2系統及びその亜系統にあたるAY系統を含んでいる。

新型コロナウイルスの懸念される変異株（VOC）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン 効果 (従来株比)
B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)	2020年5月 南アフリカ	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	ワクチンや抗体医薬の 効果を弱める可能性
P.1系統の変異株 (ガンマ株)	2020年11月 ブラジル	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	入院リスクが高い 可能性	ワクチンや抗体医薬の 効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
B.1.617.2系統の 変異株 (デルタ株)	2020年10月 インド	L452R	高い可能性 (アルファ株の1.5 倍高い可能性)	入院リスクが高い 可能性	ワクチンの効果を弱める 可能性
B.1.1.529系統の 変異株 (オミクロン株)	2021年11月 南アフリカ等	N501Y E484A	高い可能性	十分な疫学情報が無く 不明	再感染リスク増加の 可能性 ワクチンの効果を弱める 可能性

※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。
 ※PANGO系統(PANGO Lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

※デルタ株は、PANGO 系統の B.1.617.2 系統及びその亜系統にあたる AY 系統を含んでいる。

(出典)国立感染症研究所、WHO

新型コロナウイルスの監視下の変異株（VUM）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	概要
B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株)	2020年9月 英国	N501Y	<ul style="list-style-type: none">感染性や重篤度への影響が示唆されている世界的に検出数が大幅に減少し、追加的な疫学的な影響が見込まれない
B.1.617.1系統の変異株 (旧カッパ株)	2020年10月 インド	L452R E484Q	<ul style="list-style-type: none">感染性の増加が示唆されている世界的に検出数が大幅に減少
C.37系統の変異株 (ラムダ株)	2020年8月 ペルー	L452Q F490S D614G	<ul style="list-style-type: none">感染性の増加が示唆されている
B.1.621系統の変異株 (ミュー株)	2021年1月 コロンビア	E484K N501Y P681H	<ul style="list-style-type: none">感染性やワクチンの効果への影響が示唆されている
AY.4.2系統の変異株	2021年10月 英国	L452R Y145H A222V	<ul style="list-style-type: none">感染性等への影響について示唆されている

※PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

※デルタ株は、PANGO 系統の B.1.617.2 系統及びその亜系統にあたる AY 系統を含んでいる。

(出典) 国立感染症研究所、WHO

国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析

累積:104,382 (1/12時点) (+5,420) 括弧内は12/27時点比

都道府県別・空港等検疫の累積：北海道3,558、青森県325、岩手県610、宮城県2,900、秋田県299、山形県544、福島県2,334、茨城県3,445、栃木県2,264、群馬県1,351、埼玉県4,566、千葉県4,383、東京都929、神奈川県3,350、新潟県1,946、富山県803、石川県1,689、福井県1,004、山梨県346、長野県1,362、岐阜県790、静岡県1,889、愛知県1,251、三重県2,360、滋賀県1,021、京都府2,228、大阪府3,504、兵庫県11,648、奈良県1,298、和歌山県1,964、鳥取県643、島根県1,161、岡山県1,439、広島県3,083、山口県2,759、徳島県454、香川県967、愛媛県628、高知県809、福岡県10,590、佐賀県700、長崎県1,095、熊本県1,877、大分県1,184、宮崎県854、鹿児島県2,030、沖縄県2,818、空港等検疫5,330

国立感染症研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VUMs

(系統のみを特定できたものも含む) (1/11時点) 括弧内は12/27時点比

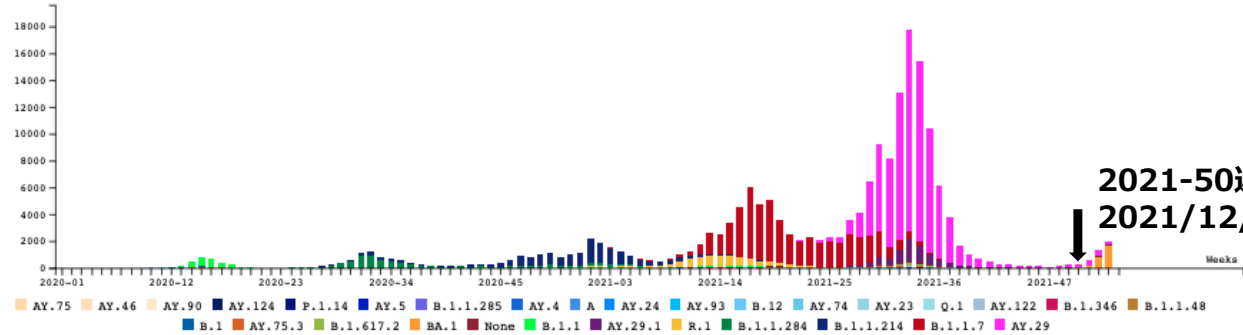
- B.1.351系統の変異株 (ベータ株) : 国内25例 (+0例)、検疫92例 (+0例)
- P.1系統の変異株 (ガンマ株) : 国内107例 (+0例)、検疫30例 (+0例)
- B.1.617.2系統の変異株 (デルタ株) : 国内95,304例 (+1,215例)、検疫1,460例 (+36例)
- B.1.1.529系統の変異株 (オミクロン株) : 国内1,359例 (+1,311例)、検疫986例 (+798例)
- B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株) : 国内51,953例 (+66例)、検疫342例 (+0例)
- B.1.617.1系統の変異株 (旧カップ株) : 国内8例 (+0例)、検疫19例 (+0例)
- C.37系統の変異株 (ラムダ株) : 国内0例、検疫4例 (+0例)
- B.1.621系統の変異株 (ミュー株) : 国内0例、検疫2例 (+0例)
- AY.4.2系統の変異株 (デルタ株) : 国内0例、検疫7例 (+0例)

※件数は暫定値であり、その時点において最新のpango lineageを基に計上しているものであるため、再集計した際に数値が変動する可能性がある。
※デルタ株にはB.1.617.2系統と同等の変異を有する系統 (AY.1等) が含まれる。

新型コロナウイルス ゲノムサーベイランスによる系統別検出状況（国立感染症研究所）

国内 新型コロナゲノムの PANGO lineage 変遷（2022/01/14 現在）

[Only Domestic] Weekly Top 30 Graph (count each week)

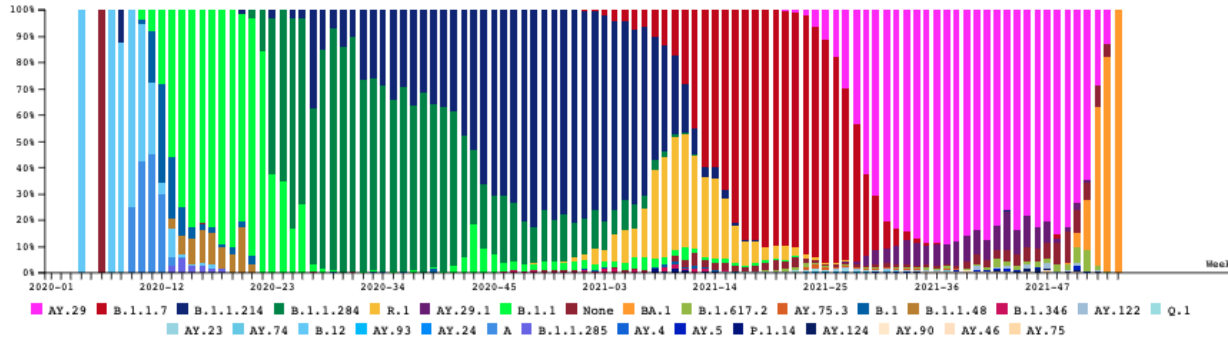


2021-50週
2021/12/13 - 12/19

None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

[Only Domestic] Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

2021-50	
AY.29	229
B.1.1.7	0
B.1.1.214	0
B.1.1.284	0
R.1	0
AY.29.1	9
B.1.1	0
None	28
BA.1	16
B.1.617.2	20
AY.75.3	0
B.1	0
B.1.1.48	0
B.1.346	0
AY.122	2
Q.1	0
AY.23	0
AY.74	0
B.12	0
AY.93	0
AY.24	0
A	0
AY.4	1
B.1.1.285	0
AY.5	4
P.1.14	0
AY.124	3
AY.90	0
AY.46	0
AY.75	1

※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む。
 ※変異株PCR検査での陽性検体を優先してゲノム解読していたこともあるため、正確な母数でPANGO lineage判定できない可能性がある。
 ※デルタ株は、PANGO系統のB.1.617.2系統とその亜系統にあたるAY系統を含む。
 ※オミクロン株は、PANGO系統のB.1.1.529系統とその亜系統にあたるBA系統を含む。
 ※各都道府県のゲノムサーベイランスの状況については、厚生労働省HPの新型コロナウイルス感染症について/国内の発生状況/変異株に関する参考資料、において公表しています。

※その他の株は検出されていない。

ゲノム解析実施状況 (12/13-1/9) 速報値

2022/1/17時点

	都道府県	地方衛生 研究所	大学	医療機関	民間検査機関
1	北海道	119	0	0	0
2	青森県	14	0	0	0
3	岩手県	28	0	0	0
4	宮城県	159	6	0	0
5	秋田県	0	0	0	0
6	山形県	17	0	0	0
7	福島県	56	0	0	0
8	茨城県	74	0	0	0
9	栃木県	43	0	0	0
10	群馬県	73	0	0	0
11	埼玉県	228	0	0	0
12	千葉県	267	1	0	0
13	東京都	113	0	0	72
14	神奈川県	208	0	0	10
15	新潟県	41	0	0	0
16	富山県	37	0	0	0
17	石川県	55	0	0	0
18	福井県	8	0	0	0
19	山梨県	0	0	11	0
20	長野県	0	0	20	0
21	岐阜県	28	0	0	0
22	静岡県	35	211	0	0
23	愛知県	168	0	0	0
24	三重県	478	0	0	0

	都道府県	地方衛生 研究所	大学	医療機関	民間検査機関
25	滋賀県	28	0	0	1
26	京都府	133	0	0	0
27	大阪府	406	106	57	0
28	兵庫県	298	0	0	0
29	奈良県	31	0	0	0
30	和歌山県	14	0	0	0
31	鳥取県	30	0	0	0
32	島根県	136	0	0	0
33	岡山県	44	0	0	0
34	広島県	194	0	0	0
35	山口県	238	0	0	0
36	徳島県	2	0	0	0
37	香川県	30	0	0	0
38	愛媛県	22	0	0	0
39	高知県	16	0	0	0
40	福岡県	135	0	0	0
41	佐賀県	0	0	0	3
42	長崎県	75	0	0	0
43	熊本県	138	0	0	0
44	大分県	8	0	0	0
45	宮崎県	62	0	0	0
46	鹿児島県	56	0	0	0
47	沖縄県	128	0	0	0
	全国	4,473	324	88	86

※自治体主体でゲノム解析が実施可能：47都道府県（うち、地方衛生研究所で実施：45都道府県（管内の市町村で実施可能な場合も、その都道府県を集計。））

※国立感染症研究所からのゲノム機器供与：23自治体（青森県、岩手県、仙台市、山形県、新潟県、宇都宮市、埼玉県、千葉県、石川県、静岡市、福井県、三重県、滋賀県、京都府、奈良県、岡山県、山口県、徳島県、高知県、大分県、熊本市、宮崎県、沖縄県）

※解析結果が県庁等に届いた時点で調査に申告されているため、対象週以外の数値も含めて報告がされている可能性がある。

変異株PCR検査実施状況（機械的な試算） 2022年1月19日時点

	12/20-12/26				12/27-1/2				1/3-1/9				暫定値 1/10-1/16				
	変異株PCR検査実施件数	変異株PCR検査実施件数(判定不能数を除く)①	L452R変異株陰性件数②	変異株PCR検査陰性率(判定不能除く)(%)②/①	変異株PCR検査実施件数	変異株PCR検査実施件数(判定不能数を除く)①	L452R変異株陰性件数②	変異株PCR検査陰性率(判定不能除く)(%)②/①	変異株PCR検査実施件数	変異株PCR検査実施件数(判定不能数を除く)①	L452R変異株陰性件数②	変異株PCR検査陰性率(判定不能除く)(%)②/①	変異株PCR検査実施件数	変異株PCR検査実施件数(判定不能数を除く)①	L452R変異株陰性件数②	変異株PCR検査陰性率(判定不能除く)(%)②/①	
北海道	41	37	0	0%	123	110	1	1%	255	211	81	38%	945	798	612	77%	北海道
青森県	0	0	0	-	2	1	1	100%	29	28	17	61%	178	173	170	98%	青森県
岩手県	0	0	0	-	5	5	5	100%	32	32	25	78%	63	61	60	98%	岩手県
宮城県	2	2	0	0%	3	3	0	0%	47	42	42	100%	250	239	236	99%	宮城県
秋田県	0	0	0	-	0	0	0	-	12	12	12	100%	108	105	105	100%	秋田県
山形県	0	0	0	-	1	1	1	100%	21	20	20	100%	38	33	26	79%	山形県
福島県	15	15	0	0%	12	12	1	8%	85	82	68	83%	310	273	239	88%	福島県
茨城県	7	7	0	0%	13	13	1	8%	115	114	98	86%	495	495	450	91%	茨城県
栃木県	8	7	0	0%	71	50	1	2%	154	127	42	33%	324	219	189	86%	栃木県
群馬県	28	22	0	0%	20	16	1	6%	117	105	16	15%	187	170	111	65%	群馬県
埼玉県	22	20	0	0%	63	51	10	20%	292	270	231	86%	2,111	1,985	1,886	95%	埼玉県
千葉県	51	34	2	6%	158	88	45	51%	719	630	555	88%	1,662	1,537	1,467	95%	千葉県
東京都	142	126	8	6%	324	293	113	39%	3,328	3,076	2,647	86%	3,275	3,080	2,887	94%	東京都
神奈川県	44	43	6	14%	62	58	13	22%	594	570	462	81%	1,669	1,603	1,489	93%	神奈川県
新潟県	22	21	0	0%	36	35	0	0%	96	93	71	76%	225	218	212	97%	新潟県
富山県	1	1	1	100%	0	0	0	-	26	15	15	100%	117	75	62	83%	富山県
石川県	40	39	0	0%	7	7	1	14%	46	45	38	84%	101	93	93	100%	石川県
福井県	0	0	0	-	3	3	0	0%	84	84	77	92%	253	253	239	94%	福井県
山梨県	1	1	0	0%	3	3	0	0%	72	71	67	94%	186	185	175	95%	山梨県
長野県	27	26	0	0%	36	36	0	0%	217	213	131	62%	480	474	406	86%	長野県
岐阜県	3	3	0	0%	8	6	6	100%	216	182	154	85%	231	156	149	96%	岐阜県
静岡県	13	12	1	8%	18	16	7	44%	207	194	171	88%	428	380	351	92%	静岡県
愛知県	30	25	8	32%	69	65	47	72%	597	555	501	90%	761	640	593	93%	愛知県
三重県	0	0	0	-	6	5	4	80%	71	66	54	82%	471	451	441	98%	三重県
滋賀県	10	10	1	10%	17	16	3	19%	78	76	51	67%	197	174	161	93%	滋賀県
京都府	20	20	9	45%	113	108	69	64%	327	307	217	71%	534	446	395	89%	京都府
大阪府	137	130	63	48%	345	324	194	60%	1,646	1,588	1,398	88%	2,491	2,360	2,248	95%	大阪府
兵庫県	23	23	0	0%	53	51	9	18%	399	382	337	88%	633	619	578	93%	兵庫県
奈良県	3	3	1	33%	17	16	3	19%	138	125	93	74%	145	145	139	96%	奈良県
和歌山県	0	0	0	-	3	2	1	50%	22	22	21	95%	169	165	162	98%	和歌山県
鳥取県	0	0	0	-	0	0	0	-	62	61	58	95%	78	78	76	97%	鳥取県
島根県	0	0	0	-	32	32	32	100%	89	87	87	100%	248	245	244	100%	島根県
岡山県	2	1	0	0%	6	6	3	50%	94	90	73	81%	336	324	262	81%	岡山県
広島県	13	10	1	10%	91	89	67	75%	604	579	538	93%	133	127	123	97%	広島県
山口県	13	12	5	42%	57	56	40	71%	616	601	580	97%	462	449	447	100%	山口県
徳島県	0	0	0	-	1	1	0	0%	26	21	21	100%	70	64	64	100%	徳島県
香川県	0	0	0	-	3	3	2	67%	73	71	55	77%	137	133	131	98%	香川県
愛媛県	0	0	0	-	0	0	0	-	102	100	100	100%	194	191	189	99%	愛媛県
高知県	0	0	0	-	1	1	1	100%	34	33	6	18%	102	99	55	56%	高知県
福岡県	49	43	3	7%	64	55	12	22%	297	258	205	79%	731	580	522	90%	福岡県
佐賀県	3	3	0	0%	6	6	0	0%	76	75	72	96%	53	53	50	94%	佐賀県
長崎県	7	6	0	0%	4	4	2	50%	124	117	109	93%	223	207	200	97%	長崎県
熊本県	1	0	0	-	0	0	0	-	112	110	106	96%	251	234	233	100%	熊本県
大分県	0	0	0	-	1	1	1	100%	88	86	82	95%	256	253	246	97%	大分県
宮崎県	0	0	0	-	0	0	0	-	20	19	19	100%	143	110	106	96%	宮崎県
鹿児島県	13	13	0	0%	2	2	0	0%	154	140	127	91%	547	429	404	94%	鹿児島県
沖縄県	66	60	13	22%	267	252	183	73%	271	230	195	85%	179	145	90	62% (注)	沖縄県
全国	857	775	122	16%	2,126	1,902	880	46%	12,884	12,015	10,145	84%	23,180	21,326	19,773	93%	全国

※1 L452R変異株PCR検査で陰性を確認することにより、B.1.1.529系統（オミクロン株）の可能性のある検体を検出している。一部の都道府県ではN501Y変異株PCR検査を実施し、陽性を確認している。
 ※2 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※3 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。
 ※4 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性があることから、地域の感染状況を評価するには注意が必要である。
 ※5 感染経路が明らかなクラスター発生事例においては全例検査は実施していない場合がある。
 (注) 県外から持ち込まれたと思われるデルタ株の流行が一部地域で発生し、その検体が変異株PCR検査に多く含まれたために、一時的にL452R陰性率（オミクロン疑い）が下がったものと考えられる。